

こっこめ通信 05 2005

「花が咲けば蝶が飛ぶ」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて
「こっこめ」とよびます。

今年は、春の花の咲きが遅かったため、フリージアが満開になったのはフリージア祭りの終了後でした。観光客の方にはご迷惑をお掛けしました。それでも4月の上旬には八丈富士や三原山の所々がオオシマザクラで白くなり、その後スタジイの新緑が目立つようになってきています。山の緑はとても目に良さそうですね。

公園内の芝生にも色とりどりの草花が咲き始め、それにつられて虫たちの動きも活発になってきました。5月の中旬には、ハチジョウノコギリクワガタの姿も目にすることができるでしょう。

さて、今回は「八丈・卯月のスナップ」「八丈島で記録のある蝶たち」についてのお話です。

八丈・卯月のスナップ

4月に入って、とても気持ちの良い青空の日が増えてきました。そこで、島の風景をスナップしてきました。途中、偶然にも珍しい「ヤツガシラ」や渡りの途中に立ち寄った「コムクドリ」にも出会うことができました。

虫では、オオムラサキシキブの葉の裏には「イチモンジカメノコハムシ」、カミキリムシの姿も目にすることができるようになってきました。



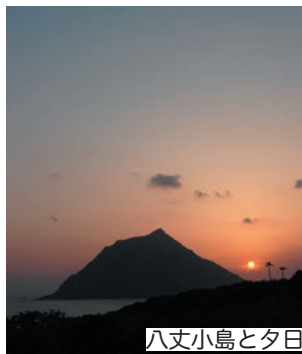
フリージアと八丈富士



イチモンジカメノコハムシ



毛繕いをするヤツガシラ



八丈小島と夕日



渡りの途中のコムクドリ



ハイイロヤハズカミキリ



オオシマザクラと八丈富士

「アカコッコ」は日本固有のツグミ科の鳥で、国の天然記念物に指定されています。
八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

八丈島で記録のある蝶たち

八丈島で見られる蝶は、カラスアゲハやアオスジアゲハなど毎年必ず見られる種類、アゲハなどのように年によって見られる数が変わる種類、リュウキュウムラサキのように南方から飛来してくる種類などがあります。本土のようにたくさんの種類が見られないのも島の特徴です。

また、園芸植物に混じって卵や幼虫が島に持ち込まれ、定着してしまう場合もあるかもしれません。

これから蝶がたくさん見られる季節です。ちょっと散歩がてら、蝶を探してみてもいいかもしれません。



セセリチョウの仲間の中で一番多いチャバネセセリ。一見、蛾のように見えますが蝶の仲間になります。



以前は、ほとんど見る事のなかったアゲハ。昨年から多くなり、今年は、すでにたくさん飛んでいます。



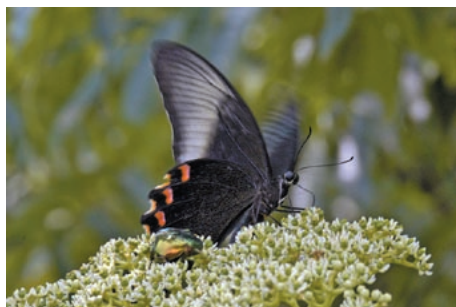
シロチョウの仲間の中で一番多いモンシロチョウ。スジグロシロチョウは昨年初めて確認されました。



島の中で一番多いアオスジアゲハ。一年に数回発生していると思われる。海岸付近でも見られます。



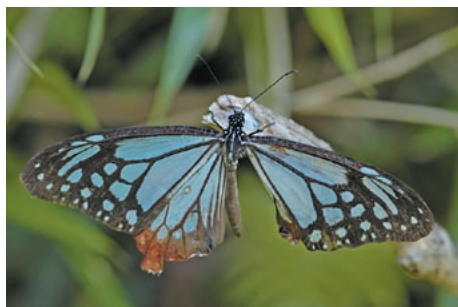
ヒメアカタテハはガーデニングの花などにも集まってきます。毎年発生し、数も多い蝶です。



カラスアゲハは八丈亜種とされて、春と夏に発生があります。カラスザンショウの近くを探しましょう。



小さなシジミチョウの仲間は、公園内でもたくさん見られます。写真は一番多い、ヤマトシジミ。



春に北上、秋に南下するアサギマダラ。島で確認されるものはルートから外れ、体はボロボロです。

八丈島で記録のある蝶（ビジターセンター調べ）

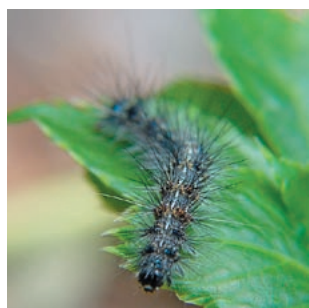
アゲハチョウ科	アゲハ	<i>Papilio xuthus</i>
	ハチジョウカラスアゲハ	<i>Papilio bianor hachijonis</i>
	アオスジアゲハ	<i>Graphium sarpedon nipponum</i>
シロチョウ科	キチョウ	<i>Eurema hecabe hecabe</i>
	モンシロチョウ	<i>Artogeia rapae crucivora</i>
	スジグロシロチョウ	<i>Artogeia melete</i>
	モンキチョウ	<i>Colias erate poliographys</i>
シジミチョウ科	ウラナシジミ	<i>Lampides boetieus</i>
	ヤマトシジミ	<i>Pseudozizeeria maha</i>
	ルリシジミ	<i>Celastrina argiolus ladonides</i>
	ウラギンシジミ	<i>Curetis acuta paracuta</i>
	ムラサキツバメ	<i>Narathura bazalus turbata</i>
ジャノメチョウ科	ウスイロコノマチョウ	<i>Melanitis leda leda</i>
	クロコノマチョウ	<i>Melanitis phedima oitensis</i>
マダラチョウ科	アサギマダラ	<i>Parantica sita nipponica</i>
タテハチョウ科	アカタテハ	<i>Vanessa indica indica</i>
	ヒメアカタテハ	<i>Cynthia cardui</i>
	ルリタテハ	<i>Kaniska canace</i>
	リュウキュウムラサキ	<i>Hypolimnas bolina</i>
セセリチョウ科	アオバセセリ	<i>Choaspes benjaminii japonica</i>
	チャバネセセリ	<i>Pelopidas mathias oberthueri</i>
	イチモンジセセリ	<i>Parnara guttata guttata</i>

八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きもので季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。今回は4月10日に行いました。

八丈植物公園季節調査（平成17年第4回）					
平成17年4月10日（日） 13時30分～15時 参加者：永井、黒田、沖山、横川、V.C. 菊池					
NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態
	草本		42	コセンダングサ	花と実
1	オランダミミナグサ	花、盛り	43	イヌホオズキ	花
2	オニタビラコ	花	44	オオシマカンスゲ	実
3	カタバミ	花	45	ハルジオン	花、咲き始め
4	カラスノエンドウ	花、盛り	46	ウラシマソウ	咲き残り
5	トキワハゼ	花	47	テリミノイヌホオズキ	花と実、初記録
6	タチイヌノフグリ	花	48	ノゲシ	花
7	ウスベニニガナ	花	49	ヘビイチゴ	花
8	スズメノカタビラ	花と実	50	シラスゲ	花
9	イワニガナ	花	51	コマツヨイグサ	花
10	キランソウ	花、盛り	52	トウバナ	花
11	ハハコグサ	花	53	タケダグサ	花
12	ハナイバナ	花	54	ヤクシソウ	狂い咲き
13	アキノノゲシ	花	55	コメツブツメクサ	咲き始め
14	シロノセンダングサ	花と実	56	オオイヌノフグリ	花
15	ベニバナボロギク	花	57	コナスビ	花
16	スズメノエンドウ	花、盛り	58	ハコベ	花
17	カスマグサ	花	59	イヌガラシ	蕾
18	シチトウスミレ	花、盛り	60	アオスゲ	花
19	チチコグサモドキ	花	61	ブクリョウサイ	花
20	ニラバラン	蕾	62	マツバウンラン	花
21	ヒナギキョウ	花	63	ケキツネノボタン	花
22	ヒメコバンソウ	花と実	64	イヌタデ	狂い咲き
23	ムラサキカタバミ	花	65	シロツメクサ	花
24	ハチジョウアザミ	花	66	ヤブタビラコ	花
25	スズメノヤリ	花と実	67	ナガエアオイ	花、初記録
26	オオアレチノギク	花		木本	
27	アシタバ	花と実	1	カジイチゴ	花
28	チガヤ	花	2	タイミンタチバナ	花
29	ヤエムグラ	花	3	オオシマザクラ	花
30	トキワツユクサ	花、咲き始め	4	エノキ	花
31	セイヨウタンポポ	花	5	ハチジョウキブシ	花
32	チチコグサ	花	6	クワ sp.	花
33	アツバスミレ	花、盛り	7	ヤナギイチゴ	花
34	ハキダメギク	花	8	ハチジョウイチゴ	花
35	タネツケバナ	花と実	9	ヒサカキ	花
36	キュウリグサ	花	10	ハチジョウクサイチゴ	花と実
37	ツメクサ	花	11	タブノキ	花
38	コケリンドウ	花	今回は78種の植物を観察しました。春の野草はほぼ出そろった感があります。		
39	シロバナマンテマ	花			
40	ヌカボ	花			
41	オオバコ	花			

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、島で大発生している「クワゴマダラヒトリ」にスポットを当ててみたいと思います。



クワゴマダラヒトリ *Spilosoma imparilis*

鱗翅目ヒトリガ科。北海道から屋久島まで広い範囲に分布しています。クワやブドウ、カキ、ナシ、クリ、カンキツなど多種の植物の芽や葉を食べる害虫として知られています。八丈島でもいろいろな植物の葉を食べてしまっていますが、特にアシタバの被害が大きいです。ここ数年、島の中で大発生をしています。

2005 5 八丈ビジターセンター プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。左側が満潮時刻、右側が干潮時刻です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
 1 特別行事 「バードウォッチング入門」 「体験八丈太鼓」 08：12 03：59 16：44	2 特別行事 「バードウォッチング入門」 「体験八丈太鼓」 01：15 06：48 10：21 18：18	3 特別行事 「草木染め体験教室」 「バードウォッチング入門」 「体験八丈太鼓」 02：04 08：05 12：57 19：37	4 特別行事 「早朝探鳥会」 「海岸を歩こう」 「バードウォッチング入門」 「体験八丈太鼓」 02：38 08：46 14：27 20：37	5 立夏 特別行事 「バードウォッチング入門」 「体験八丈太鼓」 03：06 09：21 15：30 21：23	6 03：32 09：54 16：22 22：03	7 ガイドウォーク 03：56 10：26 17：08 22：39
 8 ガイドウォーク 植物公園 季節調査会 04：21 10：58 17：51 23：12	9 04：45 11：30 18：31 23：43	10 05：11 12：03 19：10	11 05：37 00：13 19：48 12：37	12 06：04 00：42 20：28 13：12	13 06：31 01：12 21：11 13：50	14 ガイドウォーク 07：00 01：47 22：04 14：33
15 ガイドウォーク 07：32 02：35 23：11 15：24	 16 08：20 04：05 16：28	17 00：23 06：32 10：28 17：45	18 01：16 07：46 12：50 19：00	19 01：54 08：24 14：14 20：02	20 02：25 08：56 15：13 20：53	21 小満 ガイドウォーク 02：54 09：28 16：03 21：38
22 ガイドウォーク 03：22 10：01 16：50 22：19	23 03：51 10：36 17：37 22：58	 24 04：22 11：14 18：25 23：36	25 04：54 11：55 19：15	26 05：30 00：16 20：07 12：39	27 06：09 00：58 21：01 13：27	28 ガイドウォーク 八丈学講座 「漂着種子を探そう」 06：53 01：47 21：59 14：18
29 ガイドウォーク 07：46 02：50 22：57 15：16	 30 09：00 04：14 23：52 16：19	31 10：47 05：49 17：28	この色の日は 特別行事があります			

イベントプログラム

GW特別行事 「バードウォッチング入門」	植物公園の中でバードウォッチングの入門編です。アカコッコは見られるかな？ 5/1～5/5（10：30～ 約1時間半） だれでも ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名 雨天中止
GW特別行事 「体験八丈太鼓」	島の太鼓を体験してみませんか？日頃のストレスを発散しよう！ 5/1～5/5（13：30～ 随時） だれでも ビジターセンター入口にて 無料 雨天中止
GW特別行事 「草木染め体験」	アシタバを使って絹のハンカチを染めます。どんな色に染まるかな？ 5/3（13：30～ 約1時間半）小学生以上（低学年は保護者同伴） ビジターセンターにて 参加費：800円（材料費込み）定員：15名
GW特別行事 「早朝探鳥会」	早朝のホタル水路で、春に渡ってきた鳥や島の代表的な鳥を観察します。 5/4（6：30～ 約1時間半）小学生以上（低学年は保護者同伴）雨天中止 鴨川ホタル水路 集合・解散 参加費：100円 定員：15名
GW特別行事 「海岸を歩こう」	植物や鳥などの観察、ビーチコーミングなどをしながら海岸をのんびりと歩きます。 5/4（13：30～ 約2時間）小学生以上（低学年は保護者同伴）雨天中止 ヤケンガ浜海岸 集合・解散（予定）参加費：100円 定員：15名
植物公園季節調査会	植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！ 5/8（13：30～ 約1時間半）中学生以上 ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名
八丈学講座 「漂着種子を探そう」	毎月行っている八丈学講座。今月は、黒潮に乗って南から流れてきた漂着種子を探します。 5/28（13：30～ 約1時間半）中学生以上 大瀧浦海岸 集合・解散（予定）参加費：100円 定員：15名

ビデオプログラム

10：00～	八丈・海・生きものたち
11：00～	おじゃりやれ 八丈島
14：00～	おじゃりやれ 八丈島
15：00～	おじゃりやれ 八丈島
16：00～	八丈・海・生きものたち
上記以外での上映は予約にて可能です	

東京都八丈ビジターセンター 2005.5.1 第48号

開館時間 9：00～16：45 年中無休（入場無料）
〒100-1401
東京都八丈島八丈町大賀郷2843
電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

（ホームページでは「こっこめ通信」をカラーで見ることができます）

編集後記

もうすぐGWです。一時水温が下がり冷水塊接近か！と心配された海もすっかり元通りの水温に戻り、これならばダイバーのみなさんにも楽しんでもらえそうです。GW中はビジターセンターでも色々な催しがあるのでぜひ遊びに来て欲しいです。（高）